第５回　卒業後の資産運用について

卒業後の株の買い方は？

基本はひたすら毎月一定の金額を買い続ける

銘柄を全てもつ

平均取得単価を下げる

投資金額は変化していいか？

売却について

まとまったお金の運用（学費なども）

ルール 1: 毎月の投資金額を決める

ルール 2: 人生の中で最優先することを決める

ルール 3:何にお金を使わないかを決める

ルール 4: 相談する相手を 3 人決める

ルール 5:　1 つ自分でお金のルールを作る

ルール 5.5: ルールを守りましょう

オープニングワーク

卒業後の資産運用について、不安な事や質問を書き出す

卒業後の資産運用について（Q&A 形式）

【Ｑ１】配当の再投資とは？

【Ｑ２】まとまったお金の資産運用について

【Ｑ３】毎月の株の買い方について

【Ｑ４】子供の学費などの、老後資金以外のお金の貯め方

【Ｑ５】銘柄推奨価格について

【Ｑ６】決めた金額で本当に目標達成するか

【Ｑ７】ネット情報での推奨株は購入した方がよいか

【Ｑ８】NISA 口座が終わった後はどうするか

【Ｑ９】老後に貯まった株をどのように切り崩していくか

【Ｑ１０】NISA 証券口座を変更したいと思った際に気をつけるべき点

【Ｑ１１】権利確定日に合わせて購入するべきか

【Ｑ１２】子供に株を渡すかどうか。その際は相談してもよいか

【Ｑ１３】教育資金、老後資金を分けて運用する時の分け方

【Ｑ１４】２つの証券会社に投資した場合どちらから使用した方がいいか

【Ｑ１５】特定口座の場合、外国税額控除の確定申告をした方が良いのか

【Ｑ１】配当の再投資とは？

【Ａ１】配当金で株を購入すること。

配当金を再投資することで、複利※の効果がある。

※複利のイメージ　１００万円を年利８％で運用。

	元本	利息
1年目	1,000,000円	80,000円
2年目	1,080,000円	86,400円
3年目	1,166,400円	93,472円

利息も増え、元本も増えていく。さらにここに配当も再投資となると、また増えていく雪だるま方式ともいう。

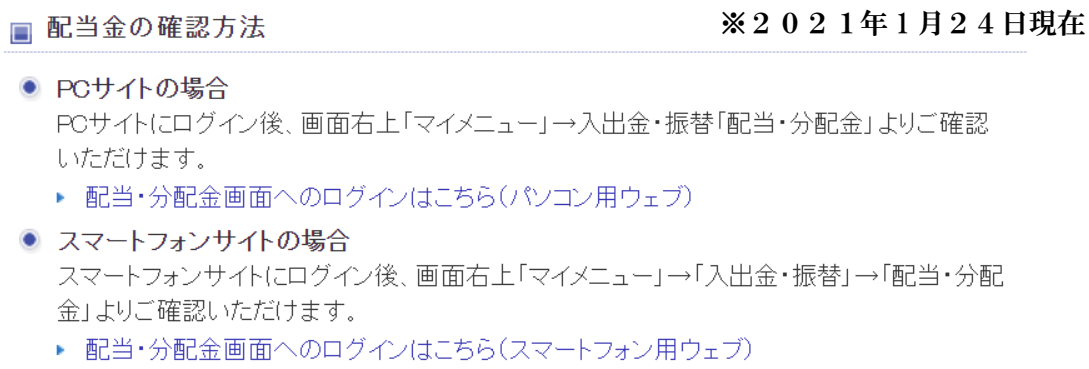
■配当がどこに入ってきているかを確認してみよう！

配当に関しては、外貨で入ってくる。
円貨決済している人は、外貨がすべて配当となる。

・SBI証券の場合

参照）https://faq.sbisec.co.jp/answer/5edde01d50df500012206ce0?search=true

・楽天証券の場合



参照）https://www.rakuten-sec.co.jp/web/service/dividend/#foreign02

【Q２】まとまったお金の資産運用について

【A２】２つの考え方がある。

■まとまったお金（例えばボーナス）が入ってきた際の２つの考え方

１．そもそも投資にまわすべきか？

将来のために使うのか今の生活を潤すために使うのかを考える。
目標金額に達成するための、毎月の投資金を確保しているのであれば、
投資にまわす必要性はない。
少し余裕を持たせたい場合は、投資にまわしても OK。
ただし、投資の金額をどんどん増やしていくよりも、
自分の健康のためにお金を使った方がいい場合もあるし、働き方を考えてもいい。
Point！　すべてを投資に回すことが善ではないということは常に意識する！

２．一気に投資にまわさない

例えば、１００万円のまとまったお金があった場合、
１００万円分の株を買うとして、翌月暴落が起きた場合、
1か月待てばよかったと後悔する。

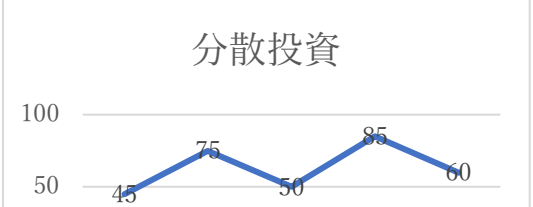
Point！　まとまったお金も分散して投資することが大事

■どれくらいの期間に分散して投資すべきか？

３年～５年かけて分散して投資することが望ましい。⇒暴落時の低迷期間から算出

１００万円を３年かけて投資する場合・・・月々：約２万８千円
１００万円を５年かけて投資する場合・・・月々：約１万７千円

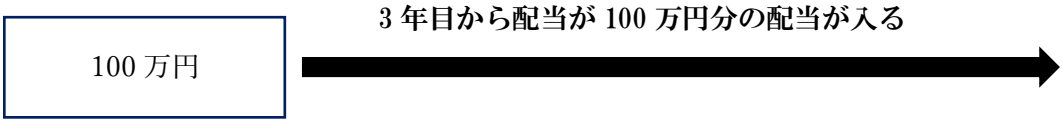
・５年かけて分散投資した場合　※数字は適当



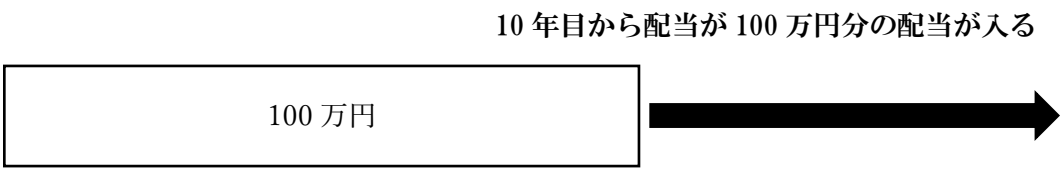
株価が下がったとしても、
上がったとしても買うことで
平均値をとることができる。

10 年 20 年とした方がより配当の平均値は、高くなるが、
3 年で 100 万円投資した場合と１０年で 100 万円投資した場合では、
3 年の方が 3 年目から 100 万円分の配当をもらえるので、期間を長くすることで、
もらえる配当が少なくなってしまう。

・3 年で 100 万投資した場合



・10 年で 100 万投資した場合

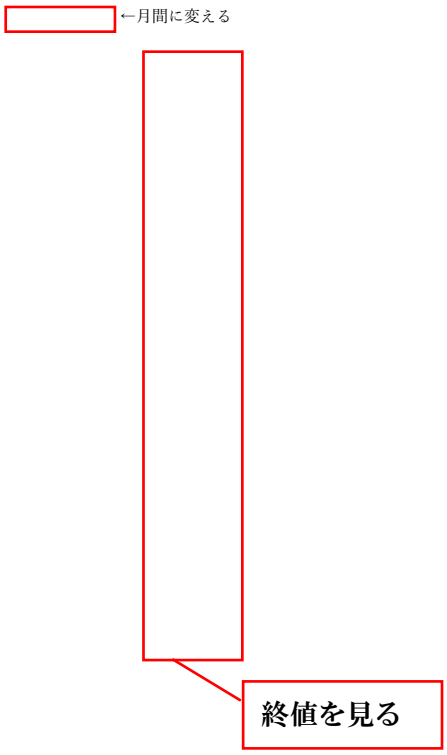


■　3 年・5 年どちらがいいか判断つかないとき

NY ダウ平均株価 過去のレート - Investing.com を参照

※NY ダウ…アメリカの株価の平均値

２０２１．１．２３時点



・始値…月の始めの価格
・終値…月の最後の価格

・赤…先月より上がった
・緑…先月より下がった

色で判断する！

同じ色が 4 か月連続で続いたときに、その後の株価が変わると言われている。
赤が続いた場合…その後株価は上がる　緑が続いた場合…その後株価は下がる
※あくまでも傾向値

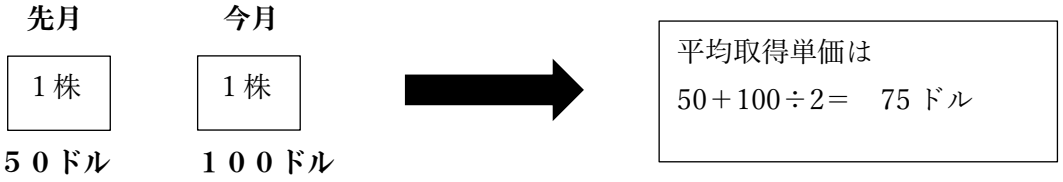
緑が 4 か月連続で続いた場合…株価は下がる可能性があるので 3 年で投資
赤が 4 か月連続で続いた場合…株価は上がる可能性があるので 5 年で投資

株価が上がると調整※がはいり、株価が下がることがある。
※株価が当面の高値を付けた後、利益確定売りに押されて一時的に下落すること。
下がり始めたなと思ったら、３年に変更してもよい。
少しでも安い時に購入したい方は、NY ダウの色をみて判断し、
そうでない方は、5 年に分散することがおすすめ。
多少外れたとしても、分散投資でリスクは下がっているので問題なし。
気を付けるのは、まとまったお金を一気に投資しないこと！

【Q３】毎月の株の買い方について

【A３】平均取得単価よりも安く買うことを覚えておく！

平均取得単価とは…買った株の価格平均値



【例】

現在持っている株の価格が、57 ドルだった場合
平均取得単価が 52 ドルだと、購入時より 5 ドル上がっている。儲けている状態。

【例】

コカ・コーラの株を 3 株保有していたとして、平均取得単価が 49 ドル
現在の株価は 52 ドル。これを購入すると平均取得単価は上がる
では、48 ドルだった場合は、平均取得単価は下がる。
平均取得単価が下がっている時に買えば買うほど、30 年後株価が上がったとして、
上がった時のリターンが大きい。

Point！購入の際に迷ったときの優先順位

① 15 種類を均等に購入

② 平均取得単価が下げれるものを購入

【Q４】子供の学費などの、老後資金以外のお金の貯め方

【A４】使うタイミングで貯金すべきか、投資すべきかを考える

■５年以内に使うのか？１０年以内に使うのか？

5 年以内に使う　　→　　貯金で貯める

5 年目で増えていく可能性もあるが、短期投資でリスクが下がりきっていない。
また、使うタイミングで暴落が起きた際、損を確定しないといけない。

10 年以上先に使う　　→　　投資

基本的には長期運用は 15 年以上が一番ベストといわれている。
仮に暴落したとしてもアメリカ株投資を取り入れていれば、配当もあり、
マイナスになる可能性は低くなるため

【例】子供の学費を 10 年で 300 万投資で貯めようとした場合

子供の学費を貯めるということは、10 年後 300 万一気に売る可能性が高い。
つまりリスクが高い。長期運用のメリットが減るので、年利 6%で考える。
短期運用やその瞬間に必ず使わないといけないお金の利率に関しては、
低く考えておく。

■6 年から 9 年はどうなのか？

自分のライフスタイル次第。自分だったらどうするかを考える

【Q５】銘柄の購入推奨価格はどのように出しているか？結構変動するか？

【A５】調査会社と連動した中で価格を決めている。

今後の企業の状況を考えた時に、おそらくこの株価ぐらいだったら
割安になるだろうという想定。絶対的な数字ではないし、変動するとしても１年単位。

【Q６】毎月決めた金額を投資して本当に目標達成するか

【A６】シミュレーションを３年に１回、もしくは５年に１回行う事が大事

あくまでもシミュレーションなので、保証はできない。
保守的に少し多めに計算しているが、上がる可能性もあるし、下がる可能性もある。
老後に近づけば近づくほど、年金、物価、生活費が明確になっていくため、
現状の生活費や状況に合わせて、老後資金を再度シミュレーションしていく。
シミュレーションのタイミングとしては３年に１回、５年に１回くらいで。

【例】目標額に届きそうではないとなった時

① 働く年数を伸ばす

② 退職後の生活費を下げる

③ 現状の生活費を下げて投資金額を増やす

その時の状況でプランをある程度柔軟に対応することを考えておく
お金に余裕があるので今のうちに投資して、後々減らすなども OK。

【Q７】ネット情報での推奨株は購入した方がよいか？

【A７】自分のルールに沿っているのであれば OK。
ただし、増えそうだから買うは NG。

【例】google が最高！Amazon が最高！と情報があった場合

その企業のことを知らないので買わない。
また、配当を出す企業をメインに買っているというルールを作っているので買わない。
要は、自分のルールに当てはまるかで判断する。
ここで気を付けておくポイントは、増えそうだから買う。
資産運用はあくまでも、ゴールを決めておこなうもの。
増えそうだから買うはどこに向かっているのかわからなくなる。
ただし、セミリタイアしたいなどの目的があれば成長株を買うっていう選択肢は有。

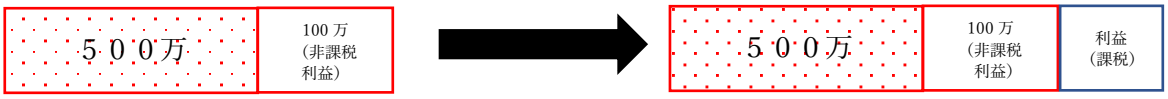
【Q８】NISA 口座が終わった後はどうするか

【A８】特定口座（課税口座）に移す

NISA 口座（非課税）だったものを特定口座（課税）に移すことになる。

【例】500 万投資し 100 万円の利益、計 600 万を特定口座に移すとき

●NISA 口座　　●特定口座



600 万円の株を特定口座に移す　　600 万円から増えた利益は課税

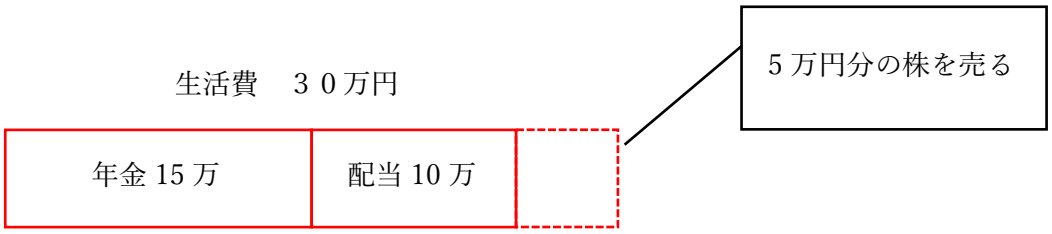
操作方法に関しては、現在のものが変わる可能性があるので、証券会社に問い合わせ。

【Q9】老後に貯まった株をどのように切り崩していくか

【A9】足りない分の金額の株を売っていく。

【例】

5000 万円分に株を持っている。
生活費は月々３０万円とし、年金が１５万円もらえたとする。
さらに、配当が 10 万円もらえたとして、残り 5 万円足りない。
→足りない分の 5 万円分の株を売って補うことがよい。



5 万円分の株を売った際、4955 万の株があるので、4955 万円分の配当が入ってくる。

Point！配当を最大限もらいながら切り崩していく。

株価も上がっていく想定なので、切り崩しても、お金があまり減らない。

【Q10】NISA 証券口座を変更したいと思った際に気をつけるべき点はありますか？そもそも変更にしない方がいいでしょうか？

【A10】変更する理由による。手数料安い証券口座ができたら移すが、

今のところ移す理由が見つからない

【Q11】権利確定日に合わせて購入するべきか？

【A11】あまり気にしなくていい。

購入推奨価格や平均取得単価を考え、さらに権利確定日まで気にしだすと

ややこしくなっていくため。
株を購入する時の優先順位を改めて考える。

【Q12】子供に株を渡すかどうか。その際は相談してもよいか？

【A12】お金を残ることよりも、お金の教育を残してあげることが大事

相談は OK。
子供に株を渡すとなった場合は、財産分与の対象になる。
ただし、あまり子供に財産を残すことはしない方がいい。
兄弟や親戚がいる場合、揉めてしまったりすることもある。
いろいろなお金持ちの方から話を聞くと、寄付をしている方が多い。
また、あぶく銭（苦労しないで手に入れたお金）って使ってしまうから。
二代目社長が会社をダメにしてしまう感じと似ている。
お金を残してあげるというよりも、お金の教育を残してあげることが大事。

【Q13】教育資金・老後資金を分けて運用する時の分け方

【A13】

	パートナー（A・B）と 資産運用している場合	シングルファザー シングルマザーの場合
教育資金	A さん名義で証券口座を開設	楽天証券で開設
老後資金	B さん名義で証券口座を開設	SBI 証券で開設

【Q14】2 つの証券会社に投資した場合どちらから使用した方がいいか

【A14】NISA 口座がある方から投資する。

NISA 口座を使い切って、余ったら次の口座にいったほうがいい。

そうじゃなかったら別に分散する必要性はほとんどない。
例えば、パートナーとお金を分けておきたい場合は、分けるなど。
ただし、夫婦で築いた資産は財産分与の対象になるため、
分けるとしてもバレないように

【Q15】特定口座の場合、外国税額控除の確定申告をした方が良いのか

【A15】将来的にはした方がいい。

外国税額控除とは

日本と海外の二重課税(日本と海外でどちらも税金を取られる事)を調整する為のもの。
配当をもらうと、外国、そのあと日本で税金を引かれている。
外国税額控除を申請すること（確定申告）で、外国で引かれた税金を還付できる。

外国税控除をした方がいいが、NISA 口座は対象外。
また、最少は少額なので、あまり外国税額控除のメリットが少ない。

【例】

確定申告の手間(時間)や代行費用　＞　控除額　外国税額控除のメリットがない

確定申告の手間(時間)や代行費用　＜　控除額　外国税額控除のメリットがある